

13

『2017日米亜医療機器
イノベーションフォーラム沖縄』
を開催しました

世界の医療機器市場は2019年に約50兆円に到達することが見込まれていますが、日本では約8千億円の輸入超過となり、我が国が得意とするものづくり技術が十分に活かされていない課題があります。その一方で、米国ではIPOやM&Aによる資本循環、いわゆるエコシステムにより、魅力的な医療機器を開発するベンチャー企業を育成する仕組みが確立しています。

この状況を踏まえ、日米に加え、医療機器事業者が集積する台湾との広域連携を推進し、アジアとの地理的近接性や、税制優遇などの投資環境を十分に活かすことで、沖縄を拠点としたアジア市場開拓が期待できます。そこで、当局、沖縄県、琉球大学、万国医療津梁協議会で構成する実行委員会を発足し、フォーラム及び関連イベントを開催しました。

フォーラム（11月8日、於…沖縄科学技術大学院大学）では、広域連携の具体的な協働の枠組みを構築するため、各国における法整備やベンチャー創出環境などの議論を行い、



フォーラムの様子

日米及び台湾の医療機関や医療機器事業者、ものづくり企業など、約200人が参加しました。

また、PITCH（11月9日、於…カフリーゾート）では、日米及び台湾の潜在的な医療機器開発技術や製品アイディアを26団体が発表し、約100人の参加者と活発な意見交換を行い、大いに盛り上がりました。

今後は、日米及び台湾と広域連携を深化させ、ビジネスモデル構築などにより、沖縄を医療機器開発の拠点化に向けた取組を推進します。

14

新たな
自動車検査員誕生
～11月6～9日開催の教習結果～

自動車検査員をご存じでしょうか。車を持っている方は、2年に1回車検を受けていると思います。県内にある車の約75%が、国が指定した民間の整備工場でこの検査が行われています。そこで点検・整備した車が車検の基準に適合しているかどうかを確認する方が、自動車検査員です。県内では約1,000人の自動車検査員が働いています。

彼らは、制動力、ヘッドライトの明るさや向きなどを機器にて測定し、各種装置の機能が正常なのかなどを確認します。車検制度の一翼を担う彼らの仕事は安心安全な車社会の形成に欠かせない責任重大なものと言えます。

一定の資格（整備士免許）と実務経験がある方が、当局の教習を受講し、試験に合格すると自動車検査員になることができます。今年は105名がこの教習に挑み、新たな自動車検査員が39名誕生しました。自動ブレーキ搭載車やEV車など

の開発・普及のように自動車の技術は発展し続け、また多様化しています。自動車検査員にはこれらの新技術への対応も求められており、その役割はますます重要になっていきます。当局は、今回誕生した自動車検査員の今後の活躍を大いに期待します。



試験の様子